

# ひよこだより

和歌山ろう学校 幼児教室（ひよこ組） 令和6年11月号 No.7

風はだんだんと冷たくなってきましたが、日中はお日さまが差すと暖かさが感じられます。様々な色の落ち葉やドングリが舞い落ち、秋が深まる季節になったので、身近な自然に触れる楽しさを感じてもらいました。



11月13日、21日に中庭で落ち葉あそびをしました。幼児教室の半数以上の参加があり、お家の人や友だち、先生と一緒に色々な秋の遊びを楽しみました。落ち葉を見つけると走って駆け寄り、先生やお家の人を真似して落ち葉を集め、「ひらひら」「ぱらぱら」と頭の上を舞わせたり、風で落ち葉が舞う様子を楽しんだりしました。先生やお家の人に向けて「えいっ」と集めた落ち葉を投げ、落ち葉の布団をかけたり、落ち葉の上にゴロンと寝転んで全身で落ち葉を感じたりもしました。段ボール箱を見つけると、1歳児は穴に落ち葉を入れ、2歳児は穴の上に葉っぱを乗せて「ぼんっ」と飛ばし、それぞれの遊び方を楽しみました。缶に入ったドングリは音を鳴らすと「何？」と気付いて蓋を開け、「ころころ」転がしたり、さつまいも探しでは、見つけると数を数えたり半分に割ろうとしたりし、おやつ焼き芋に期待を膨らませました。



## これだけはやってほしいことベスト3

“ろう教育はじめのいっぽ”で保護者さんがされたお話の一部です。特に集団活動の時などに、意識をしてみてください\(^\_^)/

### 1. 手話

0デシベル以外なら、とりあえずやってほしい。(周りにも気付いてもらえる) 子どものためというよりも、親自身のため。「覚える」ではなく「習得する」

### 2. ママ友・パパ友との交流

話のネタは何でもOK。ネットでは解決できないことが多い。直接話をきくと理解が深まる。

### 3. 見る・知る・実践する

子どもを見る。他の親子のコミュニケーションや実践を見て知る。できることをできるやり方で実践する。

## 「丁寧に」の実践

- 学校でやったことを家でもする、テレビで見たことをする(すぐ振り返る)
- 「我が子向け資料」を作る(絵日記など振り返り、見て分かる言葉絵カード)
- 興味の幅を広げることが学びに繋がる(名詞、手がかりになる音の仕掛け)
- テレビは子どもと一緒に見る(できるだけ)

11月16日(土)に第50回の和ろう祭がありました。ステージ発表、模擬店、作品展示などがあり、幼児教室からは『くだものさん』の作品を展示しました。

みんなが手型を押して作った木の周りにお花紙で作った果物を飾り、

子どもたちの名前を貼りました 🐣

フィナーレでは、『よしもと手話ブ!』の

方が来て、漫才を披露してくれました。

『手話×お笑い=シュワライ』👍の

YouTube 配信しているそうなので、

興味のある方は一度ご覧ください 📺

